



経営管理委員会 会長
阿 部 和 孝



理事長
井 関 正 志

皆さまには、平素より私ども J A 愛媛県信連（愛媛県信用農業協同組合連合会）をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

当会は、昭和23年の設立以来、農業金融における県域組織として、また、地域の発展を支援する地域金融機関として安定的経営を続けてまいりました。これもひとえに会員はもとより関係機関、地域の皆さまのご理解とご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、金融機関を取り巻く環境は、マイナス金利政策の長期化による資金収支の減少など極めて厳しい状況にあります。

特に、J A バンクにおいては、組合員の高齢化・人口減少による事業基盤への影響がいち早く顕在化することが懸念されており、F i n T e c 技術の台頭による他業態からの金融業への進出、他の金融機関の農業融資への参入など、今後はより一層激しい環境の変化が想定されます。

こうしたなか、当会では令和元年度からスタートする中期経営計画（令和元年～令和3年度）において、今一度原点に立ち返り「安定的収益機能の強化」・「J A バンクえひめ本部機能の強化」の2つの基本戦略のもと、各施策を着実に実践することで、会員 J A に対する安定的収益還元機能の強化に努め、J A の目指す姿である「総合事業体の強みを最大限に発揮しながら、他業態と差別化した価値を提供し、農業所得向上・地域活性化に貢献する。」、「信用事業の推進の変革により、安定的な収益構造を構築する。」、「取り巻く環境の変化に対応した金融インフラの合理化・効率化を図る。」の実現に向けて、県内12総合 J A と当会で構成する「J A バンクえひめ」の一員として、取り組んでまいります。

新役員体制のもと、J A とともに総力を結集し、地域の皆さまにより一層必要とされる J A バンクえひめを目指し、役職員一丸となって邁進する所存でございますので、引き続きご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

令和元年 7 月